

平成30年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本校は、平成26年度から「高大連携重点型」工科高校として再出発し、「工学系・大学進学専科」を1クラス設置して、昨年度で第2回目の卒業生を送り出したところである。

本校がこれまで培ってきた伝統や教育活動を踏まえ、スローガン（標語）である「生徒が主役！一生徒の力を伸ばし、確かな進路を実現」を掲げ、ものづくり人材の育成を図る。

- 1 授業や特別活動を通じ、生徒が生き生きと学び、将来へのキャリア形成を着実に挙る。
- 2 規律を遵守し、規範意識を持ち、正しさを一貫して追求する。
- 3 生徒の多様な進路を保障しつつ、社会に有為な技術者を送り出す。
- 4 地域に貢献し、地域に開かれた信頼される学校となる。

2 中期的目標

1 確かな学力向上への取組み

(1) 生徒が積極的に授業に参加し、基礎的・基本的な学力の定着ができるよう、生徒との信頼関係をベースにした授業改善に取り組む。

ア 生徒の実態を把握し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図り、「魅力ある授業」「わかる授業」を推進する。

イ 教員の授業力向上のため、教員相互の授業見学や研究授業の活性化と、外部との連携による研修の充実を図る。

ウ 家庭学習の定着と、読書活動を推進できるように学校図書館機能の充実を図る。

※授業アンケート結果における授業満足度（平成28年度79.0%、平成29年度80.8%）を、2020年度には85.0%以上に挙る。

※生徒向け学校教育自己診断における「授業の工夫等」（平成28年度45.0%、平成29年度56.0%）を、2020年度には70.0%以上に挙る。

※生徒向け学校教育自己診断における「家庭学習者の増加」（平成28年度20.0%、平成29年度26.5%）を、2020年度には35.0%以上に挙る。

※生徒向け学校教育自己診断における「図書館機能の充実」（平成28年度54.0%、平成29年度62.5%）を、2020年度には70.0%以上に挙る。

(2) 「ものづくり教育」を通じて、意欲をもって学習に取り組む生徒を育成する。

ア 生徒が望ましい勤労観・職業観を身に付けるため、企業や大学等と連携を行い、キャリア教育・職業教育の充実を図る。

イ 生徒が様々な資格に挑戦できるよう、日々の学習活動や放課後に指導を行い、頑張る生徒を支援する。

ウ 英語の4技能（「聞く・話す・読む・書く」）をバランス良く指導し、国際的な視野を有する技術者を育成する。

※インターンシップ参加者（平成28年度65名、平成29年度42名）を、2020年度には70名以上に挙る。

※生徒向け学校教育自己診断における「実習授業満足度」（平成28年度74.5%、平成29年度77.0%）を、2020年度には85.0%以上に挙る。

※資格取得者の増加を図り、全国工業高等学校長協会（全工協会）で資格取得に応じて点数化されて、その合計点により顕彰されるジュニアマイスター制度を奨励し、ゴールド[G]・シルバー[S]・ブロンズ[B:H30から制度化]の取得（平成28年度G3名・S8名、平成29年度G4名・S8名）を、2020年度にはG5名・S12名・B20名以上に挙る。

2 子ども達の未来に向けた支援と豊かな心をはぐくむ

(1) 人権教育に立脚した他者と連携する力の育成に努めるとともに、生徒との信頼関係をベースにした毅然とした生徒指導を行う。

ア 生徒の発達段階に応じた人権教育と、学年別人権教育の充実を図る。

イ 生徒にマナーの向上とルールを厳守させ、問題行動の防止や遅刻件数・転退学率の減少に努める。

ウ 情報モラルやセキュリティに関する教育の充実を図る。

※生徒向け学校教育自己診断における「人権教育等の充実度」（平成28年度49.5%、平成29年度53.5%）を、2020年度には60.0%以上に挙る。

※問題行動指導（平成28年度14件・32名、平成29年度11件・29名）を、2020年度には件数を一桁台にする。

※遅刻件数（平成28年度4,453件、平成29年度3,268件）を、2020年度には2,000件以下にする。

※転退学率（平成28年度1.69%〔転学0.95%、退学0.74%〕、平成29年度2.01%〔転学1.06%、退学0.95%〕）を、2020年度には1.5%以下にする。

(2) 分掌・学年等の取組の中で、生徒の自己実現への支援に努める。

ア 支援教育の充実のため教育相談体制の機動性を高め、学習支援活動の充実を図る。

イ 進路実現に向けた分掌・学年・教科の連携を深め、学校行事を含めて生徒の自己実現に向けた指導の充実を図る。

ウ 工学系大学進学専科の指導充実を図り、国公立大学への進学を含め生徒の多様な進路希望の実現を図る。

エ 卒業後の追跡調査の精査をめざすため、3年後の離職率調査を実施する。また、進学した生徒の学習状況調査を実施する。

※生徒向け学校教育自己診断における「先生の相談対応」（平成28年度52.5%、平成29年度59.5%）を、2020年度には65.0%以上に挙る。

※生徒向け学校教育自己診断における「進路に関する行事の充実」（平成28年度67.5%、平成29年度70.0%）を、2020年度には75.0%以上に挙る。

※就職一次合格率（平成28年度82.1%〔工科平均82.6%〕、平成29年度83.6%〔工科平均84.8%〕）を、2020年度には工科平均以上に挙る。

※就職希望者内定率（平成28年度100%〔214名〕、平成29年度100%〔220名〕）、進学希望者内定率（平成28年度95.1%〔78/82名〕、平成29年度98.8%〔82/83名〕）を、2020年度には共に100%にする。

※3年後の離職率（平成28年度21.7%、平成29年度24.5%）を、2020年度には20%以下にする。

3 魅力ある工科高校の創造と学校運営体制の確立

(1) 広報活動の充実を図り、志願者の安定的確保を図る。

ア 2020年度の旅費縮減を踏まえて、中学校訪問や出前授業、学校説明会の精査・充実を図る。

イ 地域の小・中学校等との連携を深め、学校の活性化を促進する。

ウ 中学卒業生が減少する中、入学者選抜の志願者倍率を総合募集・工学系ともに1倍以上確保する。

※幼・小・中学校との連携（平成28年度5回、平成29年度7回）を、2020年度には8回にする。

※志願倍率（平成29年度入試〔総合〕1.014倍〔工学〕1.725倍、平成30年度入試〔総合〕0.875倍〔工学〕1.625倍）を、2020年度には総合募集・工学系ともに1倍以上確保する。

(2) 生徒がものづくり大会等で入賞できるよう、教員の「ものづくり」技術を継承し、意欲ある教員の育成に努める。

ア 旋盤・電気工事・電子回路組立など、ものづくり大会へ参加し、全国大会をめざす。

イ マイコンカーレース・ロボット相撲大会などに参加し、全国大会をめざす。

※高校生ものづくり大会旋盤部門（近畿大会：平成28年度準優勝・第5位、平成29年度準優勝・第3位）を、2020年度には近畿大会で優勝して全国大会に出場する。

(3) 生徒が生き生きと学校生活を送り、未来を支援できるよう学校組織の改善を進める。

ア 部活動加入率の向上とともに、環境整備や安全対策の強化を図る。

イ 学校課題について五役会（校長・教頭・首席・指導教諭・事務長）で検討し、組織的に迅速な実行を図る。

ウ 教職員が互いの情報を共有化するため、校内イントラネットを活用した校務のICT化を進める。

※部活動加入率（平成28年度69.0%、平成29年度66.8%）を、2020年度には72.0%以上に挙る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析	学校運営協議会からの意見
<p>○本校の学校教育自己診断は、毎年1年生と3年生の生徒・保護者及び教職員に対して実施している。</p> <p>（以下の数値は、肯定的意見「よく・やや当てはまる」の比率を示す）</p> <p>【生徒が主役の学校づくり】</p>	<p>○第1回学校運営協議会【H30.7.25】</p> <p>◇インターンシップについて</p> <p>〔質問〕取組みの課題は何か？</p> <p>〔回答〕学校と企業との日程調整が難しいことや、受入企業が限定されること等。</p> <p>本校はクラブ加入率が高く、夏季休業中にインターンシップを実施できる日程が限定される。</p>

府立淀川工科高等学校

<p><生徒調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校満足度」 1年 78% (H28：80%, H29：74%)、3年 77% (H28：79%, H29：83%) ・「淀工生の自覚と誇り」 1年 62% (H28：72%, H29：61%)、3年 63% (H28：69%, H29：76%) ・「文化祭等行事が盛ん」 1年 76% (H28：85%, H29：82%)、3年 81% (H28：81%, H29：82%) ・「部活動が盛ん」 1年 78% (H28：85%, H29：80%)、3年 80% (H28：85%, H29：82%) <p>※学校に対する満足度は、継続的に高いポイントである。 淀工生については、3年生のポイントが減少傾向である。 行事や部活動への取組みは、継続的に高いポイントである。</p> <p>【学習指導】</p> <p><生徒調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業に意欲的参加」 1年 67% (H28：66%, H29：62%)、3年 60% (H28：58%, H29：70%) ・「実験・実習が興味深い」 1年 75% (H28：75%, H29：75%)、3年 70% (H28：74%, H29：79%) ・「資格取得に熱心」 1年 58% (H28：52%, H29：54%)、3年 54% (H28：71%, H29：67%) ・「家庭学習の実行」 1年 17% (H28：18%, H29：21%)、3年 26% (H28：22%, H29：32%) <p>※授業参加は、もう少しモチベーションを上げる工夫が必要である。 工科高校の実技科目は、継続的に高いポイントである。 資格取得は、3年生のポイントが減少傾向である。 家庭学習に大きな課題があり、家庭学習の習慣付けと校内での指導の工夫を検討する必要がある。</p> <p><教員調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習形態の工夫改善」 80% (H28：78%, H29：87%) ・「思考力重視の学習指導」 52% (H28：57%, H29：52%) <p>※工夫改善に努めているが、思考力の育成には今一步である。今後、組織的な授業改善や学習指導に一層努めたい。</p> <p>【生徒指導】</p> <p><生徒調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「服装などルール・マナー」 1年 69% (H28：69%, H29：63%)、3年 60% (H28：72%, H29：63%) ・「携帯電話マナー」 1年 65% (H28：46%, H29：41%)、3年 50% (H28：47%, H29：58%) <p>※ルールやマナーは、継続して一層の取組みが必要である。</p> <p><教員調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒指導の組織的取組」 56% (H28：57%, H29：63%) <p>※生徒指導は、更なる組織的な取組みが必要である。</p> <p>【進路指導】</p> <p><生徒調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「HRで進路や生き方を考える機会」 3年 48% (H28：57%, H29：55%) ・「進路に備えた行事が充実」 3年 64% (H28：67%, H29：73%) <p>※HRでの進路指導等は、ポイントが減少し、充実が必要である。 進路行事は、ポイントがやや減少し、充実が必要である。</p> <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「工科高校に進学させて良かった」 1年 91% (H28：88%, H29：87%)、3年 93% (H28：85%, H29：97%) <p>※本校に対する保護者満足度は、高い水準を維持している。</p>	<p>◇工学系について</p> <p>[質問] 工学系大学進学専科の大学合格者数は？ 外部模試や英語学力調査の活用はどうか？</p> <p>(回答) 大学合格者 50名のうち、工学系合格者数は 27名。 外部模試の結果は、担任が把握して生徒に指導するとともに、結果データをグラフ化して職員会議で周知している。 英語については、本年度から 4 技能の観点から GTEC を導入している。結果データはこれからである。</p> <p>◇就職の一次合格率について</p> <p>[質問] 就職の一次合格率の傾向はどうか？</p> <p>(回答) 工科高校平均よりやや低いのが 8 割を超えている。 本校は大手企業の求人が多く、大手は全国から受験生が来るため競争が厳しく、そのため工科高校平均より合格率がやや低い結果となっている。</p> <p>◇入試の定員割れについて</p> <p>[質問] 入試における総合募集の定員割れについて</p> <p>【意見】 高校の授業を、中学校の教員に見学してもらったらどうか。</p> <p>(回答) 中学校の技術家庭科研究会等で見学してもらったことがある。中学校の教員は、高校に比べて人数も少なく、出張も行きにくい状況と聞いている。</p> <p>◇あいさつについて</p> <p>[質問] 出勤で学校前を通るが、守口一中の生徒はあいさつするが、淀工生はしない。</p> <p>(回答) 生徒に啓発するとともに、正門でのあいさつ運動を継続的に行って行く。</p> <p>○第 2 回学校運営協議会【H31. 1. 9】</p> <p>◇教育相談について</p> <p>[質問] 中学校と違い高等学校には支援学級がないので心配であったが、教育相談室の話を聞いて安心した。現状はどうか？</p> <p>(回答) 教育相談室を常に解放している。このような府立高校は珍しい。</p> <p>【意見】 教育相談については熱心に取り組んでいる。</p> <p>[質問] 生活指導部と教育相談室との連携はどうか？</p> <p>(回答) 生活指導部の中に教育相談係があるので連携はできている。</p> <p>[質問] 教育相談室に来室する生徒の情報共有はできているのか？</p> <p>(回答) 支援教育推進委員会を開催して情報共有を図っている。</p> <p>[質問] 教育相談の内容の分析は行っているのか？</p> <p>(回答) 分析までは行っていない。問題が長期化するので記録は残している。</p> <p>◇遅刻指導について</p> <p>[質問] 遅刻カード（入室許可書）の運用の仕方と、学校全体で組織的に取り組むことが必要ではないか？</p> <p>(回答) 遅刻カードは生活指導でデータ化して、学校全体的で共有したい。</p> <p>[質問] 遅刻カード（入室許可書）を導入すると、休む生徒が増加しないか？</p> <p>(回答) 休む生徒の増減は不明。遅刻カードは教室に入室する際の手続きであり、教員全体で生徒の遅刻指導を行うために活用したい。</p> <p>【意見】 就職すれば遅刻はしないかもしれないが、高校での現在の指導が大切である。これまでのワンパワーでの指導ではなく、学校全体で取り組んで欲しい。</p> <p>◇体験入学・学校見学会・中学校訪問・入試倍率について</p> <p>[質問] 1 学年 6 クラスになると教員数は減るのか？</p> <p>(回答) 現在、具体的な教員数は確認できていないが減少する。</p> <p>[質問] 普通科は定員割れしにくいのが、工科高校はなぜ定員割れをするのか？</p> <p>(回答) 工科高校は広報に力を入れているが、中学校の先生に工科高校のことをもっと知ってもらおう工夫をしていきたい。しかし、来年度から出張旅費が大幅に削減される可能性があるため、広報活動の件数を増やすのは厳しい。</p> <p>【意見】 工科高校の良さを中学校に植え付けることが大切である。特に保護者の関心を高める工夫が必要である。</p> <p>○第 3 回学校運営協議会【H31. 2. 21】</p> <p>◇学校教育自己診断の家庭学習について</p> <p>[質問] 家庭学習のポイントが低下しているのはどうしてか。</p> <p>(回答) 学校に残って教室で学習することが多くなっている。</p> <p>【意見】 設問の仕方を次年度は検討した方がよい。</p> <p>◇技術アイデアコンテスト・ジュニアマイスターについて</p> <p>【意見】 学校のアピールポイントになるので、本校の強みとしてアピールした方がよい。</p> <p>◇平成 30 年度学校評価について</p> <p>【意見】 ◎○が全体の 6 割で、△が 4 割。おおむね計画の半分成果があったと捉えてよい。</p> <p>【意見】 昨年度は自己診断の結果が高く、それと比較しているので△が多い。過去 3 年間の平均値を目標として設定してはどうか。</p> <p>【意見】 高い目標を設定しているのに、どのようにチャレンジしたのかのプロセスも評価してはどうか。</p> <p>◇人権教育の取組みについて</p> <p>[質問] 人権教育の取組みについて肯定率が低かったのはどうしてか。</p> <p>(回答) 人権教育推進委員会が人権学習の行事を毎年実施している。生徒は、「今から人権学習です」と説明しないと人権学習とは認識していない。すべての授業・実習の中で、命の大切さや安全面の指導は行っている。</p> <p>(回答) 次年度は、人権教育を含め道徳教育推進教員を任命して道徳教育を実施して行く。</p> <p>◇H31 学校経営計画について</p> <p>[質問] めざす学校像を変更することは大変大きなことである。2022 年度に実施の新学習指導要領を先取りして実施することなのか。</p> <p>(回答) 次期学習指導要領では、育成する生徒像として「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かい合う力、人間性等」の 3 つの柱であり、この各柱を基に各教科の教育目標に落とし込んで行く予定である。</p> <p>【意見】 工業人としての高い倫理観は生徒に具体例を示しながら、目標を設定して進めて欲しい。</p> <p>【意見】 中期的目標 3 の「安全・安心で魅力ある学校づくり」は、「信頼される魅力ある学校づくり」に変更してはどうか。</p> <p>【意見】 学校教育自己診断の評価については、高い目標値を設定するのではなく、過去 5 年間の平均値 + α の目標値にしてはどうか。</p>
--	---

本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力への取組み	<p>(1) 学力の定着</p> <p>ア 「魅力ある授業」「わかる授業」の推進</p> <p>イ 教員相互の授業見学や研究授業、外部と連携した研修の充実</p> <p>ウ 家庭学習と学校図書館機能の充実</p> <p>(2) ものづくり教育</p> <p>ア キャリア教育・職業教育の充実</p> <p>イ 資格取得への支援</p> <p>ウ 英語の4技能指導による技術者の育成</p>	<p>(1)</p> <p>ア・教員の授業に対する生徒の意識を把握し、指導力向上を図る。</p> <p>・全学年において基礎学力調査等による生徒学力定点観測・分析を行い、課題の克服を図る。</p> <p>イ・教科ごとの公開研究授業を実施。教員相互の授業見学、授業力向上研修を進める。</p> <p>ウ・家庭学習の定着とともに、学校図書館機能の充実を図る。</p> <p>(2)</p> <p>ア・企業や大学等の連携により、キャリア教育・職業教育への興味や関心を高める。</p> <p>イ・様々な資格取得を組織的に進め、生徒の付加価値を高める。</p> <p>ウ・英語学力調査を入学生から新規導入し、4技能の分析を行い、英語教育の指導に生かす。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・授業アンケートの質問9「授業満足度」82%以上(H29: 80.8%)</p> <p>・学校教育自己診断「授業の工夫等」平均60%以上(H29: 1年50%、3年62%)</p> <p>・生徒の経年値学力の向上 国数英の平均計210点以上</p> <p>イ・相互授業見学1人2回以上</p> <p>・公開研究授業の実施(各教科)</p> <p>ウ・学校教育自己診断「家庭学習者の増加」平均30%以上(H29: 1年21%、3年32%)</p> <p>・学校教育自己診断「図書館機能の充実」平均65%以上(H29: 1年61%、3年64%)</p> <p>(2)</p> <p>ア・インターンシップ参加者数: 50名以上(H29: 42名)</p> <p>・学校教育自己診断「実習授業満足度」平均80%以上(H29: 1年75%、3年79%)</p> <p>イ・ジュニアマイスター: H29取得者数からの増加(H29: G4, S8)</p> <p>ウ・英語学力調査結果を分析し、課題と今後の指導方針の見直しを図る</p>	<p>(1)</p> <p>ア・授業アンケート結果 平均80.25% (Δ) (1回目80.5%、2回目80.0%)</p> <p>・「授業の工夫等」平均48.0% (◎) (1年生44%、3年生52%)</p> <p>・学力経年変化 (○) 1年⇒2年 低下 2年⇒3年 上昇 [工学系] 1年入学時の平均212.3点 (○)</p> <p>イ・授業見学 (○) 6, 10月オープン授業週間 授業週間で2回以上の見学実施</p> <p>・公開授業見学 (○) 10月公開授業⇒保護者見学13名 11月初任者・10年研の研究授業</p> <p>ウ・「家庭学習者の増加」平均21.5% (Δ) (1年生17%、3年生26%)</p> <p>・「図書館機能の充実」平均55.0% (Δ) (1年生53%、3年生57%)</p> <p>(2)</p> <p>ア・インターンシップ32名、13社 (Δ)</p> <p>・「実習授業満足度」平均72.5% (Δ) (1年生75%、3年生70%)</p> <p>イ・全工協会 ジュニアマイスター顕彰 (◎) 特別賞 1名 (後期1) ゴールド 4名 (前期1、後期3) シルバー 7名 (前期2、後期5) ブロンズ 2名 (前期2)</p> <p>ウ・英語の4技能 (○) 1年生対象に英語学力調査を実施 ◇聞く・読む・話す⇒予備的なレベル ◇書く⇒入門的なレベル</p>

府立淀川工科高等学校

<p>2 子ども達の未来に向けた支援と 豊かな心をはぐくむ</p>	<p>(1) 人権教育と生徒指導 ア 発達段階に応じた人権教育の充実 イ マナー向上とルール厳守、問題行動の防止や遅刻件数・転退学率の減少を図る ウ 情報モラルやセキュリティの啓発に努める</p> <p>(2) 生徒の自己実現への支援 ア 教育相談体制の充実 イ 進路実現に向けた指導の充実 ウ 進路希望の実現 エ 離職率調査と大学進学者への学習状況調査</p>	<p>(1) ア・人権講演会や人権 HR を実施し、合理的配慮を踏まえた「ともに学び、ともに生きる」共生社会を学ぶ。 イ・集会時や日々の学校生活において啓発を行い、問題行動の防止に努める。 ・基本的な生活習慣を身に付けさせ、遅刻件数の減少を図る。 ・きめ細かな生徒指導、学習指導により転退学率の減少を図る。 ウ・情報に関する授業での指導と、集会時や外部講師による啓発等を行う。</p> <p>(2) ア・支援教育コーディネーターを中心に関係教員の連携を強化し、教員による相談対応の充実を図る。 イ・生徒の自己実現に向けた取組みを支援するため、進路に関する学校行事の充実を図る。 ・就職一次合格率の向上を図る。 ウ・就職希望者の進路実現に向け、きめ細かな進路指導を行う。 ・工学系はじめ大学等進学希望者の進路実現に向け、きめ細かな進路指導を行う。 エ・卒業3年後の離職率調査を継続し、就職者の定着を進める。 ・大学進学者への学習状況調査を継続し、進学指導に生かす。</p>	<p>(1) ア・学校教育自己診断「人権教育等の充実度」平均 60%以上 (H29: 1年 54%、3年 53%) イ・問題行動指導: 件数一桁台 (H29: 11件・29名) ・遅刻件数: 2,500件以下 (H29: 3,268件) ・転退学率: 1.6%以下 (H29: 2.01%) ウ・外部講師による啓発: 各学年1回 (H29: 未実施)</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断「先生の相談対応」平均 60%以上 (H29: 1年 53%、3年 66%) イ・学校教育自己診断「進路に関する行事の充実」平均 73%以上 (H29: 1年 67%、3年 73%) ・就職一次合格率: 工科平均以上 (H29: 83.6%、工科平均 84.8%) ウ・就職並びに進学希望者内定率: 共に 100% (H29: 就職 100%、進学 98.8%) エ・離職率: 23%以下 (H29: 24.5%) ・学習状況調査による課題の洗い出し</p>	<p>(1) ア・「人権教育等の充実度」平均 46.5% (Δ) (1年生 49%、3年生 44%) イ・問題行動指導 7件、16名 (◎) ・遅刻件数 3,761件 (Δ) 1年 H30 580件、H29 552件 2年 H30 1,147件、H29 1,358件 3年 H30 2,034件、H29 1,358件 ・転退学率 1.82% (Δ) 転学者 8名、0.86% 退学者 9名、0.97%</p> <p>ウ・外部講師による啓発 各学年実施 (○)</p> <p>(2) ア・「先生の相談対応」平均 52.0% (Δ) (1年生 52%、3年生 52%) イ・「進路に関する行事の充実」平均 67.5% (Δ) (1年生 71%、3年生 64%) ・就職一次合格率 84.9%、工科平均 86.1% (Δ) ウ・就職 100% (203/203) (○) 進学 93.6% (44/47) (Δ) 大学入試センター試験 6名受験 (H28 は 3名受験、H29 はゼロ) エ・離職率 23.8% (Δ) 就職 229名、回答 227名 (回収率 99.1%) ・進学者調査の回収率 51.9% (○) 課題: 数Ⅲ・物理 優位性: 工業の技術・知識、レポート作成、プレゼン能力</p>
---	---	---	--	---

府立淀川工科高等学校

<p>3 魅力ある工科高校の創造と学校運営体制の確立</p>	<p>(1) 広報活動と志願者確保 ア 広報活動の検討・充実 イ 地域との連携 ウ 志願者倍率</p> <p>(2) ものづくりに対応する教員の育成 ア ものづくり大会への参加 イ マイコンを利用した大会への参加</p> <p>(3) 有意義な学校生活と学校組織の改善 ア 部活動の振興 イ 学校課題の対応と迅速な組織体制 ウ 校務の ICT 化</p>	<p>(1) ア・修学旅行を含め、中学校訪問や出前授業、学校説明会の精査・充実を図る。 イ・地域の小・中学校との連携を深め、学校の活性化を図る。 ウ・様々な機会を捉えて学校PRを行い、入学者選抜の志願者を確保する。</p> <p>(2) ア・学習内容に合致した高校生ものづくり大会へ参加し、全国大会に出場できるよう近畿大会で優勝をめざす。 イ・マイコンカーレースやロボット相撲大会に出場し、上位入賞して全国大会出場をめざす。</p> <p>(3) ア・部活動加入率を向上させ、活気ある高校生活を送れるよう、環境整備や安全対策を強化する。 イ・五役会（校長・教頭・首席・指導教諭・事務長）で将来構想や課題を分析・検討し、学校組織の改革を図る。 ウ・職員室が分散しているため、校務やグループウェア等を活用した ICT 化を推進する。</p>	<p>(1) ア・中学校訪問 (H29: 150 校)、出前授業 (H29: 8 校)、学校説明会 (H29: 10 件) の精査・充実 イ・幼・小・中学校との連携: 7 回以上 (H29: 7 回) ウ・志願者倍率: 1 倍以上 (H30: [総合] 0.875 倍、[総合] 1.625 倍)</p> <p>(2) ア・ものづくり大会の成果 (H29: 旋盤が近畿大会準優勝) イ・マイコンカー、ロボット相撲の成果 (H29: 共に全国大会出場)</p> <p>(3) ア・部活動加入率: 70%以上 (H29: 66.8%) イ・改革や課題解決による成果 ウ・ICT 活用による会議室等の予約管理や行事管理の実施</p>	<p>(1) ア・訪問 88 校、出前 10 校、説明会 21 件 (○) イ・連携 7 件 (○) ラグビー 2 件、吹奏楽 2 件、サッカー 1 件、生徒会 2 件 ウ・一般入学者選抜 (○) 総合募集 0.96 倍 (231/240) 工学系 1.28 倍 (51/40) 合計 1.01 倍 (282/280)</p> <p>(2) ア・旋盤部門 2 名が近畿大会出場 (◎) 近畿大会は第 5 位 全工協会: 高校生技術・アイディアコンテスト全国大会 本校は 2 作品応募⇒応募総数 59 作品 本校の 2 作品が ・優秀賞 受賞 (全国第 2 位) ・理事長特別賞 受賞 (全国第 3 位)</p> <p>イ・ロボット相撲 全国大会出場 (○) パソコン甲子園モバイル部門 全国大会出場 (全国は 8 組出場、高校は 2 組)</p> <p>(3) ア・部活動加入率 64.7% (△) 運動部 26.7%、文化部 38.0%</p> <p>イ・自然災害等による対策協議と工事対応 新学習指導要領のめざす生徒像立案等 (○)</p> <p>ウ・会議室等の予約、行事管理 (○)</p>
------------------------------------	---	--	---	--